



東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03) 3271-2181  
URL: https://www.t-namakyo.jp/  
発行責任者 高 村 尚

## ＝協組の動き＝

(12月)  
9日(月) 理事会(No. 1228)  
23日(月) 理事会(No. 1229)

(2025年1月)  
7日(火) 新年賀詞交歓会  
14日(火) 理事会(No. 1230)  
27日(月) 理事会(No. 1231)

**東京協組  
新年賀詞交歓会**  
日時 1月7日(火曜日)  
11時より  
場所 第一ホテル東京



皆さま 良いお年を  
お迎えください

## 2024年 協組トピックス①

2024年は前年4月に実施した出荷ベースでの販売価格の期間契約を主眼とした「契約方式の変更」の定着を最重点課題とする各種取り組みを実施する年になりました。年末を迎えるに当たり、この1年間における当協組を取り巻く出来事や当協組の活動について改めてご報告します。

### 【1月～3月】

#### 1. 新年賀詞交歓会開催(1月5日)

1月5日(金)に都内のホテルで登録販売店やセメントメーカー他関係者及び組合員各社の代表者約200名の参会の下に新年賀詞交歓会を開催。青木理事長が年頭挨拶の中で、本年度の最重点課題として「出荷ベース(期間契約)の定着による適正価格の獲得」に言及、各関係先に当協組の施策への理解・協力を要請。

### 【4月～6月】

#### 1. 登録販売店契約更新(4月1日付け)

2月～3月にかけて実施された登録販売店各社との取引方針に関する個別ヒアリングの結果を踏まえ、29社と「登録販売店取引基本契約」を4月1日付けで更新。

#### 2. 2024年度生コン販売価格改定実施開始(4月1日)

項目	内容
改定額	1,000円/m <sup>3</sup> の値上げ (出荷ベース継続)
定価	22,000円/m <sup>3</sup>
実施時期	2024年4月1日～ 2025年3月31日までの 出荷期間

#### 3. 第48回通常総会開催(5月20日)

5月20日(月)に都内のホテルの会議室にて開催。青木理事長の冒頭挨拶の後、議長に常任理事の酒井勝弘氏が選任され、全議

案が承認可決。尚、本通常総会において2名の理事辞任に伴う補充選任が議案審議され承認。

#### 4. 残コン有償化制度適用対象変更実施(6月1日)

2023年4月1日以降、戻りコンと同様に残コンについても有償化制度の導入を実施したものの、発生量の削減には至らず、2024年6月1日以降、「最終納入車輛の残コン有償化適用除外措置」の撤廃を実施。

#### 5. 建設物価・経済両調査会物価版表示価格の上伸(6月号で満額反映)

調査会	掲載月号	改定幅	表示価格(東京地区)
建設物価調査会	6月号	+1,000円/m <sup>3</sup>	20,800円/m <sup>3</sup>
経済調査会	6月号	+1,000円/m <sup>3</sup>	20,600円/m <sup>3</sup>

### 【7月～9月】

#### 1. 原材料等価格動向調査実施(7月)

原材料購入価格や輸送費、産廃処理費等の上昇の状況について、前年度に実施した調査時以降のコストアップに関する組合員へのアンケート調査を実施。生コン工場原価が更に加速的に上昇している実態を確認。

#### 2. 理事長交代(8月26日)

5月下旬より病気療養中であった理事長の青木規悦氏に代わり、森秀樹氏が理事長に就任。

#### 3. 銀行借入による仕入れ価格増額補填継続実施決定(9月9日)

2023年度に実施した銀行借入による仕入れ価格増額補填について、原材料費の高騰や輸送費等の各種コストの増大が継続している為、組合員各社のコストアップ負担

## 新任理事 ご挨拶

### 中村 賢一郎

本年10月28日の総会にて理事に就任いたしました豊川興業株式会社・中村と申します。



をお借りし、全くの未経験から主任技士・診断士を取得することができました。当時ご指導頂いた方々に、この場をお借りし深く御礼申し上げます。

さて、ここ数年で業界の様相が一変しました。セメント大幅値上げ時は会社存続を心配しましたが、今思えばプラス面も多かったと感じております。コストアップに伴う適正価格獲得は急務である一方、建設資材急騰によるマンション消費動向の減退が進行しているとか。と想像していたら外国人による投資目的の購入が増加しているとか。ここまでインバウンド頼みで日本は大丈夫かとか…小職の微小な脳ミソで考えることは無限にあります。

微力ながら業界発展に貢献できるよう社員一同努力して参ります。ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

(豊川興業株式会社 代表取締役)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	11月(実績)	12月(月初想定)	11月(実績)	
	前年比	前年実績比		前年比
大型	196,926 m <sup>3</sup> 87.5%	195,000 m <sup>3</sup> 85.0%	引合	53,079 m <sup>3</sup> 65.7%
小型	23,524 m <sup>3</sup> 87.4%	25,000 m <sup>3</sup> 87.2%	成約	50,039 m <sup>3</sup> 77.9%
計	220,449 m <sup>3</sup> 87.5%	220,000 m <sup>3</sup> 85.3%	契残	3,190,829 m <sup>3</sup> 80.3%

先行による損益・資金繰り圧迫の緩和措置が引き続き必要と判断したことから、9月9日に開催した理事会において2024年度についても前年

度と同規模の銀行借入による仕入れ価格の増額補填を継続実施することを決定。



## 2024年 協組トピックス②

### 4. 2025 年度生コン販売価格決定(9月9日)

新たな粗骨材・細骨材及び産業廃棄物処理費の大幅な値上げ要請や来春からのセメント価格の値上げ要請を受けていることから、9月9日に開催した理事会において以下のとおり2025年度の生コン販売価格の改定実施を決定。

(1)改定額 3,000円/m<sup>3</sup>の値上げ

(出荷ベース継続)

(2)定価 25,000円/m<sup>3</sup>

(3)実施時期 2025年4月1日～

2026年3月31日まで  
の出荷期間

### 5. スライド価格改定実施決定(9月24日)

原材料価格の大幅な高騰に伴う適正な配合価格への改定が必要な状況に在る為、現行のスライド価格表に記載の

各種の項目について全面的に見直しを行った結果、9月24日に開催した理事会において2025年4月1日より以下のとおり改定することを決定。

配合スライド単価の改定(セメント価格の大幅上昇の影響を反映)

各種付帯事項の改定(出荷予定キャンセル料金、残コン・戻りコン取消し料金の改定他)

### 6. 完全週休2日制導入実施決定(9月24日)

業界全体の喫緊の課題でもある人材確保の観点から、予てより検討を進めていた完全週休2日制(土曜・日曜・祝日完全休日)導入について、9月24日に開催した理事会において2025年4月1日より導入実施することを決定。

【10月～12月】

#### 1. オーナー会議開催(10月1日)

2024年度の銀行借入による仕入れ価格増額補填継続実施、及び2025年度の生コン販売価格改定、スライド価格改定、完全週休2日制導入等に関する周知、協力要請、組合内部の意思疎通を図ることを目的として開催。

#### 2. 登録販売店会議開催(10月9日)

2025年度の生コン販売価格改定、スライド価格改定、完全週休2日制導入、その他当協組の現状と直面する課題等に関する周知、協力要請を行う為に開催。

2025年も引き続き協組諸施策への取り組みを実施して参りますので、組合員各社を始め各関係先の皆様のご高配を賜りますようお願い致します。

## 令和6年度 総合震災消防訓練視察 ー当協組組合員のミキサー車出動ー

東京消防庁主催の「令和6年度総合震災消防訓練」が11月30日(土)、東京都江東区夢の島の同庁訓練場で実施され、消火活動に使用する水の供給運搬の為、当協組組合員である東京トクヤマコンクリート社と吉田建材社のミキサー車計3台が出動し、工場で積載した水を訓練会場に設置された貯水槽に充水する訓練に参加しました。

東京都工組及び支部6協組(東京・三多摩・東関東・玉川・埼玉中央・湘南各協組)は連名で、1996年9月30日付けで東京消防庁との間で「震災時における消火活動業務に関する協定」を締結しており、今回の消防訓練を実施するに当たり、同庁より東京都工組と東京協組が応援要請を受け、訓練会場から至近距離に工場が立地する前述2社に出

動対応頂き、東京都工組と当協組は訓練実施の関係機関としての位置付けで、当日の訓練の様態を視察して参りました。

訓練の内容は、地上からの放水とヘリコプターによる空中からの放水の他、ヘリコプターを使用するレスキュー隊の投入、室内に閉じ込められた人の救出等を仮定した、大規模且つ多岐に亘るものでありました。

尚、当日の訓練の際の設定は、地震に伴い中野区内で発生した火災の消火活動に関し、東京消防庁から東京都工組が組合員工

場のミキサー車出動要請を受け、工組が対応可能な組合員工場のミキサー車の台数を消防庁に申告する形になっておりましたが、実際に火災が発生した際に充水作業の為にミキサー車の出動が必要となり、消防庁から組合員に直接出動要請が為された場合には、消防庁は工組・協組に対して迅速にその旨を連絡することとし、要請を受けた組合員は「可能な場合において」出動対応する協定内容となっております。



## 東京協組 職場紹介 ～技術部～

技術部は、専任の3名に加えて営業部兼務1名の、4名で構成しています。昨年までは2名体制でしたが、社会情勢の変化に伴い様々な技術的要求が増えていく中で、執行部のご配慮により本年度から増員されています。

技術部の業務は、大きく分類すると、①組合内外から情報を収集し、組合員に情報を提供・共有すること、②組合員の製造している生コンクリートの品質管理状況を把握すること、③発生する問題・課題の解決の3つです。この他、組合員の皆様が行っている試し練りや追加試験費用の管理も経理部と連携して行っています。

技術部のメンバーを以下に紹介させていただきます。

2017年4月から協組にお世話になっている技術部の古株『田中部長』(左から2番目)。セメントメーカーの研究所や営業技術でずっと勤務していました。本人は柄でもないと思っていますが、部長に就任して約4年が経過しました。これまで本職を務められているのは、皆様のご助力があったのと日々感謝しております。

職歴が多様で、前職の千葉工組から協組の技術部に着任されたのが『今村副部長』(右から2番目)です。生コン工場や現場調査など多様な勤務経歴をお持ちです。サングラスをかけられると「あぶない刑事」の主人公のようで近寄りたいたいですが、後輩の面倒見(酒付き合い)が良い頼れる兄貴です。

今年の4月に着任された、技術部の新人『片桐課長』(右端)です。当協組での勤務は2度目なので新人とは言えませんが、前は営業部に在籍していました。GCの購買担当者と渡り合った経験を持って工場に戻り、現場を手玉に取っていた?とか。幅広い経験をお持ちで、バランス感覚に秀でられています。今日も「チョコモナカジャンボ」を携え、携帯電話が鳴るのを待ちながら都内を歩いているかもしれません。

昨年12月から営業部に加えて技術部兼務となっていたのが『中島課長』(左端)です。技術を何も知らないとは本人の談ですが、アイスホッケークラブに所属され、冬場の夜は氷上を滑りまくっているとの事。技術部兼務も約1年が経過して今や夜の宴会部長と化して滑りまくり、まれに「車窓が見れない夜の旅」に出かけるなどして組合員の皆様に可愛がられています。

最後に技術部の業務遂行に際し、組合員皆様と組合各部の他、需要家の皆様、販売店の皆様方からの多大なるご協力を賜っておりますこと、この場を借りて改めて御礼を申し上げます。

